

“今週の国際宇宙ステーション（ISS）”

最初のISS構成要素打上げから1488日経過しました
第6次長期滞在クルーのISS滞在は21日経過しました

ISS動向

ISSの第6次長期滞在クルーは、長期間の宇宙飛行の間に微小重力環境が宇宙飛行士へ与える肺機能への影響を調べる実験や腎臓結石形成に関する実験を行いました。このような人体への影響を調べる実験は米国実験棟「デスティニー」に搭載されている人体研究用ラックの機器を使って調べます。

これからの予定（米国時間）

- ・ 2月2日 プロGRESS無人補給船の打上げ
（打上げ地：バイコヌール宇宙基地、カザフスタン共和国）
- ・ 3月1日 スペースシャトル・アトランティス号打上げ（アメリカ）
（野口宇宙飛行士搭乗、船外活動でISSの姿勢制御装置を交換）



ISS内で肺活量を測定しているバーク・ソックス宇宙飛行士（第6次クルー）

“今週のSTS - 114 / 野口宇宙飛行士が参加するISS組立てミッション”

STS - 114ミッションについて

米国時間3月1日打上げ予定のアトランティス号には宇宙開発事業団（NASA）の野口宇宙飛行士が搭乗します。

現在アトランティス号はケネディ宇宙センターの整備棟内でメインエンジンの取り付けや各部点検作業が行われています。

ミッション内容については下記URLをご覧ください。

<http://jem.tksc.nasda.go.jp/iss/ulf1/index.html>



スペースシャトルのメインエンジン取付の様子

“トピック”

向井宇宙飛行士と高校生宇宙実験チームのブリーフィング開催

NASDAは、米国時間1月16日打上げ予定のスペースシャトル・コロンビア号（STS - 107ミッション）に搭載される実験装置を利用して、高校生によるたんぱく質結晶成長実験を行います。

日本時間12月16日、宇宙実験に参加する高校生に向けて向井宇宙飛行士とNASA職員によるブリーフィングが行われました。向井宇宙飛行士は今回の科学実験ミッションの地上側での実験取りまとめなどを行っています。

当日は全国6ヶ所と向井宇宙飛行士のいるヒューストンをテレビ会議で接続し、NASAからの説明や高校生との質疑応答を行いました。

この宇宙実験に関する詳しい情報は下記URLをご覧ください。

<http://jem.tksc.nasda.go.jp/shuttle/sts107/index.html>



向井宇宙飛行士とのブリーフィングの様子（筑波）

大学生による航空機を利用した微小重力実験、まもなく実施

NASDAが今年7月に募集し選定した、大学生による航空機を利用した微小重力実験が12月19～21日、12月25～26日の2回に分けて実施されます。

第1回目の日程では東京大学と青山学院大学の2チームが、第2回目の日程ではお茶の水女子大学と奈良県立医科大学の2チームが実験を行います。この模様は後日ISS・きぼうホームページでも紹介する予定です。

実験テーマに関する情報は下記URLをご覧ください。

<http://jem.tksc.nasda.go.jp/education/parabolic/index.html>



実験に使用する航空機
（ダイヤモンド・エアー・サービス株式会社提供）

問い合わせ先：宇宙開発事業団 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター TEL: 0298-68-3074

ISS・きぼうホームページ <http://jem.tksc.nasda.go.jp> Eメール kibokoho@nasda.go.jp

「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。